

機械設備工事監理指針 令和7年版 1刷 正誤表

頁 編	章	節	項	項細	誤	正	備 考	更新日
66	1	1	4	2	(c) . . . なお、品質性能を証明する資料の整備は、受注者が「標仕」第1編1.4.5(機材の検査等)の(1)に規定する監督職員の検査を . . . にさせる。	(c) . . . なお、品質性能を証明する資料の整備は、受注者が「標仕」第1編1.4.4(機材の検査等)の(1)に規定する監督職員の検査を . . . にさせる。		R7/11/6
85	2	1	2	2	(b) 表示及びブザー (2) 各種表示等は、「標仕」第2編表2.1.7(表示等)により設ける。	(b) 表示及びブザー (2) 各種表示等は、「標仕」第2編表2.1.3~5(表示項目等)により設ける。		R7/11/6
87	2	1	2	2	(c) 入力端子及び出力端子 (2) エネルギー管理用の運転情報出力端子 . . . 情報(エネルギー管理用運転情報)出力端子を表1.2.7に示す。	(c) 入力端子及び出力端子 (2) エネルギー管理用の運転情報出力端子 . . . 情報(エネルギー管理用運転情報)出力端子を表1.2.2に示す。		R7/11/6
194	2	2	4	8	(2) ユニット形空気調和機、. . . 。ここで、落差とは、封風が切れない深さを確保することで逆流しないための水深を意味する。	(2) ユニット形空気調和機、. . . 。ここで、落差とは、封水が切れない深さを確保することで逆流しないための水深を意味する。		R7/11/6
354	3	1	1	5	「標仕」において、. . . 。また、操作装置は自動式と手動式があるが、. . .	「標仕」において、. . . 。また、運転方式は自動式と手動式があるが、. . .		R7/11/19
369	3	1	3	0	表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲()内数値は概略の目安を示す。 チーリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット スクリュー冷凍機	表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲()内数値は概略の目安を示す。 空気熱源ヒートポンプユニット 水冷 チーリングユニット スクリュー冷凍機	別図による	R7/11/6
373	3	1	3	1	(g) 附 屬 品 (1) 圧 力 計 「標仕」では、 冷凍能力が60kW未満 のもので、制御盤にて容易に圧力を確認する機能を . . .	(g) 附 屬 品 (1) 圧 力 計 「標仕」では、 法定冷凍トン50トン未満 のもので、制御盤にて容易に圧力を確認する機能を . . .		R7/11/6
379	3	1	3	5	(f) 容量制御装置 . . . に制御する。 また、制御方法は、オン・オフ制御、段階制御又は比例制御があり、比例制御の場合は能力100~10%(吸収冷温水機は30%)まで、それ以下はオン・オフ制御とする。	(f) 容量制御装置 . . . に制御する。 また、制御方法は、オン・オフ制御、段階制御又は比例制御があり、比例制御の場合は能力100~30%まで、それ以下はオン・オフ制御とする。		R7/11/19
404	3	1	5	1	(a) 「標仕」適用区分 「標仕」では、 圧縮機用電動機出力11kWを超えるもの について規定している。	(a) 「標仕」適用区分 「標仕」では、 定格冷却能力が60kW以上 について規定している。		R7/11/6
434	3	1	8	0	(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 中性能(中) フィルター	(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 中性能フィルター		R7/11/6
434	3	1	8	0	(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 クラス分類 高性能エア HEPA フィルター HPA	(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 クラス分類 高性能エア EPA フィルター HEPA ULPA		R7/11/19
438	3	1	8	5	(a) (2) 電気集じん器(パネル形) - 寸法は、1.8.1パネル形エアフィルターによる。 非再生式(特記)	(a) (2) 電気集じん器(パネル形) - 寸法は、1.8.1パネル形エアフィルターによる。 再生式又は非再生式 (特記)		R7/11/6
463	3	1	13	6	(c) 施工60(密閉形隔膜式膨張タンク廻り配管要領)の要領で必ず設置する。	(c) 施工63(密閉形隔膜式膨張タンク廻り配管要領)の要領で必ず設置する。		R7/11/19
496	3	2	1	2	(b) 鋼製ボイラー (1) 施工図の検討 (iv) . . . なお、「標仕」では、ボイラーの基礎は運転時における全體質量の3倍以上の長期荷重に耐えられる基盤上又は構造計算で安全が確認された基盤上に築造すると規定されている。	(b) 鋼製ボイラー (1) 施工図の検討 (iv) . . . なお、「標仕」では、ボイラーの基礎は構造計算で安全が確認された基盤上に築造すると規定されている。		R7/11/6
501	3	2	1	7	(a) 施工図の検討 (3) . . . 「標仕」では冷凍機の基礎は運転時における全體質量の3倍以上の長期荷重に耐えられる基盤上又は構造計算で安全が確認された基盤上に築造する。	(a) 施工図の検討 (3) . . . 「標仕」では冷凍機の基礎は構造計算で安全が確認された基盤上に築造する。		R7/11/6
507	3	2	1	11	(5) トランプ封水の深さと送風機の全静圧との関係は適正か(第2編 第2章 第4節 表2.4.2(空気調和機排水トランプ要領)参照)。	(5) トランプ封水の深さと送風機の全静圧との関係は適正か(第2編 第2章 第4節 表2.4.3(空気調和機排水トランプ要領)参照)。		R7/11/6

600	5	1	1	2		(a) 大便器 (3) 大便器 I 形・II 形 ・・・、1回の洗浄操作における排出量を言う。洗浄弁の場合は、・・・。 洗浄弁式の場合は、・・・で、製造業者公称水量となるように調整した時の排出量をいう。 専用洗浄弁方式の場合は、・・・、1回の洗浄操作における排出量を言う。	(a) 大便器 (3) 大便器 I 形・II 形 ・・・、1回の洗浄操作における排出される量を言う。洗浄弁の場合は、・・・。 洗浄弁式の場合は、・・・で、製造業者公称水量となるように調整した時の排出される量をいう。 専用洗浄弁方式の場合は、・・・、1回の洗浄操作における排出される量を言う。		R7/11/6 R7/11/7 R7/11/19																				
602	5	1	1	3		(b) 材 料 (2) 保 温 材 ・・・、排水管がビニル管の場合・・・	(b) 材 料 (2) 保 温 材 ・・・、排水管が塩ビ管の場合・・・		R7/11/6 R7/11/7																				
609	5	1	1	8		1.1.8 大便器洗浄弁	1.1.8 洗浄弁		R7/11/19																				
621	5	1	2	7		(d) 主要部の材料 主要部の材料は、「標仕」及びJIS B 8325 : 2024(設備排水用水中モータポンプ)に材料規定されているものとする。	(d) 主要部の材料 主要部の材料は、「標仕」及びJIS B 8325 : 2024(設備排水用水中モータポンプ)に材料規定されているものとする。合成樹脂製とする場合の適用は特記による。 なお、標準仕様書に規定されていない材料で、ポンプJIS B 8325で規定されている材料を使用した製品を採用する場合は、発注者、受注者間で十分な協議が必要である。		R7/11/19 R7/12/1																				
630	5	1	3	8		・・・「標仕」第5編第2章 第2節2.2.1(一般事項) (6)の規定・・・	・・・「標仕」第5編第2章 第2節2.2.1(一般事項) (5)の規定・・・		R7/11/19																				
630	5	1	3	9		・・・従来の夏期、中間期、冬期、着霜期の各期COPでの性能表示から、年間効率の表示に変更された。	・・・従来の夏期、中間期、冬期、着霜期の各期COPでの性能表示から、年間加熱効率の表示に変更された。		R7/11/19																				
635	5	1	4	1		(e) タンクに設置するはしごには、はしご上部からの総落下距離が3mを超える場合に安全ガードを設ける。なお、安全ガードの設置は特記とする。	(e) タンクに設置するはしごに、安全ガードを設置する場合は特記とする。		R7/11/19																				
668	5	1	7	4		<table border="1"><caption>部品名</caption><thead><tr><th>番号</th><th>名称</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>金属性</td></tr><tr><td>2</td><td>ふた</td></tr><tr><td>3</td><td>パッキン</td></tr><tr><td>4</td><td>防水受けつけ</td></tr></tbody></table>	番号	名称	1	金属性	2	ふた	3	パッキン	4	防水受けつけ	<table border="1"><caption>部品名</caption><thead><tr><th>番号</th><th>名称</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>ふた</td></tr><tr><td>2</td><td>金属性</td></tr><tr><td>3</td><td>パッキン</td></tr><tr><td>4</td><td>防水受けつけ</td></tr></tbody></table>	番号	名称	1	ふた	2	金属性	3	パッキン	4	防水受けつけ		R7/11/6
番号	名称																												
1	金属性																												
2	ふた																												
3	パッキン																												
4	防水受けつけ																												
番号	名称																												
1	ふた																												
2	金属性																												
3	パッキン																												
4	防水受けつけ																												
687	5	2	1	2		(a) 大便器 (1) 取付け寸法は、便房の大きさ、使用動作、給水様式等で多少の違いがある。	(a) 大便器 (1) 取付け寸法は、便房の大きさ、使用動作、給水様式等で多少の違いがある。 なお、節水形便器は洗浄水量が少量のため、つまり等が発生しないよう施工に注意する。		R7/11/19																				
926	資料6	6	1	4		表6.4.1自然冷媒の特性 オゾン 破壊係数 ODP	表6.4.2自然冷媒の特性 オゾン層 破壊係数 ODP		R7/11/6																				

(別図)

369頁 図1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲 () 内数値は概略の目安を示す。

(誤)

表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲 () 内数値は概略の目安を示す。

機 器	主な使 用冷媒 ※1	区分	(定格冷房能力)		(冷凍能力)			
			14kW	22.4kW	28kW	45kW	186kW (1,400kW) (3,500kW) (7,000kW)	(US冷凍t) (80t) (400t) (1,000t) (2,000t)
チーリング ユニット	R134a R407C	標仕		●	●	●	●	●
	R410A R32	製品	●				●	●
空気熱源ヒート ポンプユニット	R134a R407C	標仕		●	●	●	●	●
	R410A R32	製品	●				●	●
遠心冷凍機	R134a R1234ze R1234vf	標仕	容量による規定なし、全機適用					
		製品					●	●
スクリュー 冷凍機	R134a R407C	標仕					●	●
		製品				●		
吸収冷凍機	-	標仕	容量による規定なし、全機適用					
		製品				●		●
吸収冷温水機	-	標仕	容量による規定なし、二重効用の全機適用					
		製品				●		●
吸収冷温水機 ユニット	-	標仕				●		
		製品			●		●	
パッケージ形 空気調和機	R407C R410A	標仕	●	●	●	●	●	●
		製品	●				●	
マルチ パッケージ形 空気調和機	R407C R410A	標仕		●	●	●	●	●
		製品	●			●		
ガスエンジン ヒートポンプ式 空気調和機	R407C R410A	標仕		●	●	●	●	●
		製品	●		●		●	
水蓄熱ユニット	-	標仕				●	●	●
		製品				●		

※1 一般的に使用されている冷媒を示す。

凡 例	標仕適用	-----	製造者標準	→ →	未満
		=====	制御盤のみ適用	► ►	以下
		=====	「標仕」全体適用	◀ ▶	以上
		◀ └ └			を超える
製品範囲		● ●	範囲は概略の目安を示します		



(別図)

(正)

表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲 () 内数値は概略の目安を示す。

機 器	主な使 用区分 ※1	区分	(定格冷房能力)			(冷凍能力)		
			14kW	22.4kW	28kW	45kW	60kW	186kW (1,400kW) (3,500kW) (7,000kW)
空気熱源ヒートポンプユニット	R134a R407C R410A R32	標仕				30kW		(US冷凍ト�) (80ト�) (400ト�) (1,000ト�) (2,000ト�)
	製品		●				●	●
水冷チーリングユニット	R134a R407C R410A R32	標仕				30kW		(US冷凍ト�) (80ト�) (400ト�) (1,000ト�) (2,000ト�)
	製品		●				●	●
造心冷凍機	R134a R1234ze R1234yf	標仕						容量による規定なし、全機適用
	製品						●	●
スクリュー冷凍機	R134a R407C R410A R32	標仕						「標仕」規定なし
	製品					●		●
吸収冷凍機	—	標仕						容量による規定なし、全機適用
	製品					●		●
吸収冷温水機	—	標仕						容量による規定なし、二重効用の全機適用
	製品					●		●
吸収冷温水機ユニット	—	標仕					▷	
	製品				●		●	
パッケージ形空気調和機	R407C R410A	標仕	◀	▶	◀	▶		
	製品	●					●	
マルチパッケージ形空気調和機	R407C R410A R32	標仕	◀	▶	◀	▶		
	製品	●				●		
ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	R407C R410A	標仕	◀	▶	◀	▶		
	製品		●			●		
氷蓄熱ユニット	—	標仕				◀	▶	
	製品				●		●	

※1 一般的に使用されている冷媒を示す。

凡 例	-----	製造者標準	-----	-----	-----	未満	
	=====	制御盤のみ適用	-----	-----	-----	以下	
	=====	「標仕」全機適用	-----	-----	-----	以上	
	=====		◀	▶	◀	を超える	
製品範囲		●	●	範囲は概略の目安を示す			